スーパーファミコン®

SHVC-SD

SUPER 将棋

スーパー しょうぎ



取扱説明書

I'MAX

はじめに

このたびは、アイマックスの『スーパー将棋』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、本ソフトの取り扱い方および使用上の注意など、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用法でご愛用下さい。なお、この「取扱説明書」は、大切に保管して下さい。

使用上の注意

- ご使用後はACアダプタをコンセントから必ず抜いておいて下さい。
- テレビ画面からできるだけ離れてゲームして下さい。
- 長時間ゲームをするときは、健康のため約2時間ごとに10分から15分の小休止をして下さい。
- 精密機器ですので、極端な温度条件下でのご使用や保管および、強いショックは避けて下さい。また、絶対に分解したりしないで下さい。
- 端子部に手を触れたり、水にぬらすなど、汚さないようにして下さい。故障の原因となります。
- シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発油で拭かないで下さい。
- カセットの着脱時には、必ずスーパーファミコン本体の電源スイッチをお切り下さい。
- このカセットは、スーパーファミコン専用です。ファミリーコンピュータではご使用できません。
- バッテリーバックアップ機能付きカセットの場合、むやみに電源スイッチやリセットスイッチをON、OFFすると、蓄積されている内容が消えてしまうことがあります。
- スーパーファミコンに※プロジェクションテレビを接続すると、残像現象（画面ヤケ）が生ずるため、接続しないで下さい。

※プロジェクションテレビ：スクリーン投影方式のテレビ

スーパーしょうぎ SUPER 将棋

もくじ

1 コントローラーの使い方

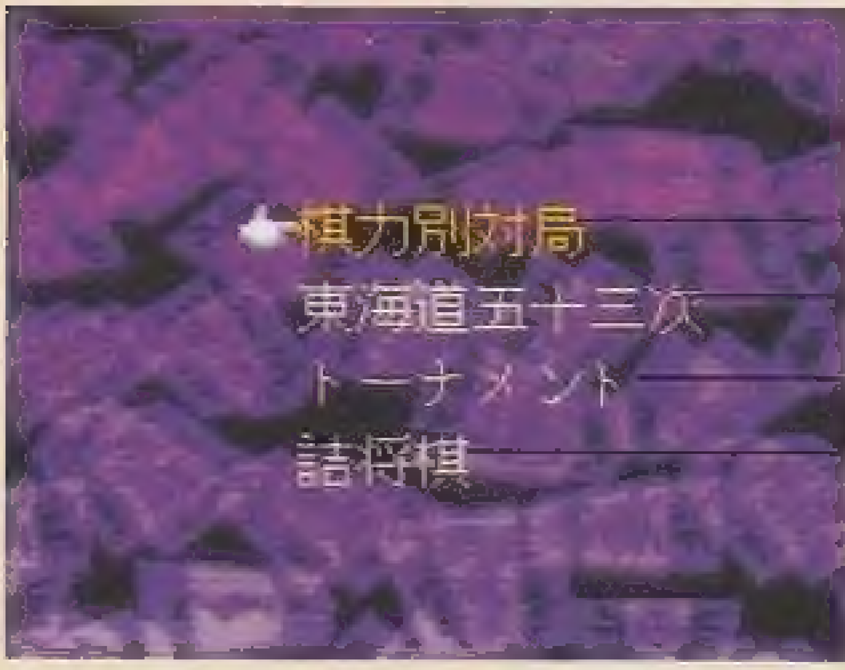


十字ボタン	・カーソルおよび駒を動かします。 ・「東海道五十三次」モードでの賭け金や、「詰将棋」モードでの問題番号を決めるときは、上下ボタンで数字を増減できます。
スタートボタン	・対局中、自分の手番のときに押すと、ウィンドウ画面が出ます。
Bボタン	・キャンセルします。これはAボタンで決定する前であれば、駒の移動や各設定をやり直すことができます。 ・持ち駒があるときは、カーソルを駒台に移動します。 ・駒台でのカーソル移動をします。 ・「棋譜再現」中に押すと、局面を一手前に戻します。 ・ウィンドウ画面を消します。またウィンドウ画面が何枚かあるときは、前のウィンドウ画面に戻すことができます。
Aボタン	・決定します。 ・設定画面では、「有」・「無」などの選択の切り替えができます。 ・「棋譜再現」中に押すと、局面を一手後に送ります。

※セレクト、X、Y、L、Rボタンは使用しません。

2 モード画面の説明

タイトル画面で何かボタンを押すと、次のようなモード画面になります。十字ボタンでモードを選択し、Ａボタンで決定してください。



6ページへ
13ページへ
16ページへ
18ページへ

3 将棋盤の見方

・コンピュータ用駒台（人間対人間の場合は後手のコントローラー2用、また人間対人間の駒落ちの場合は上手のコントローラー1用）



・現在の手番
・コンピュータ用タイマー
・現在手番の手数表示
・カーソル
・現在手番の棋譜表示
・プレイヤー用タイマー

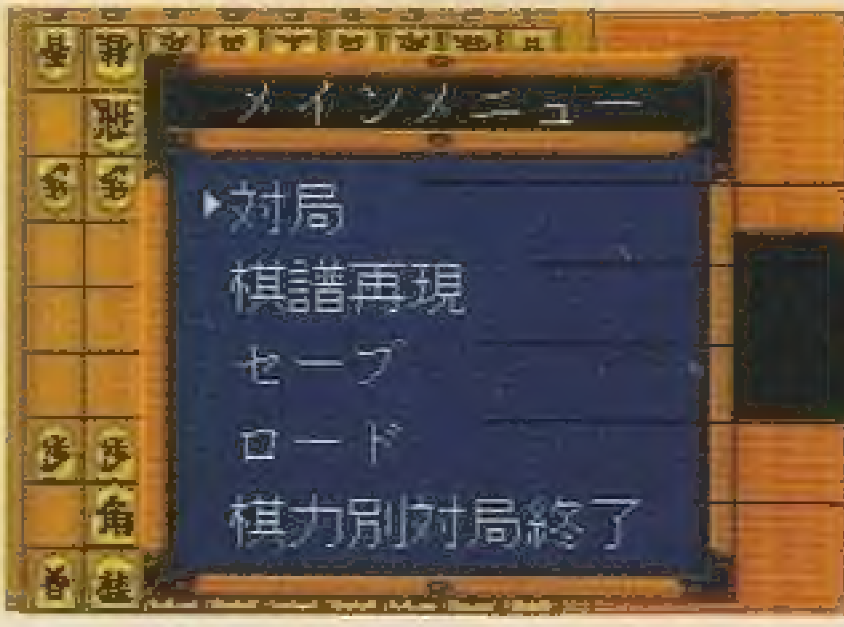
・プレイヤー用駒台（人間対人間の場合は先手のコントローラー1用、また人間対人間の駒落ちの場合は下手のコントローラー2用）

※「盤反転」で将棋盤の向きを上下反対にすることができます。

4 棋力別対局モード

●メインメニュー画面の説明

モード画面で「棋力別対局」モードを選択すると、さらに次のようなメインメニュー画面が表示されます。十字ボタンで選択し、Aボタンで決定して下さい。



●「対局」での各設定方法

対局を始める前に、駒落ちや先手、強さ、持ち時間などの設定を行います。

①対局のスタイルを設定します。

続き　　：画面上に棋譜が残っている場合、または棋譜をロードすると、カーソルがこの位置にきており、続きから始めることができます。
　　　　　※このとき他の選択肢を選ぶと、「画面上の棋譜が消えます」と表示されます。

平手　　：全部の駒が揃った、通常対局になります。

角落ち　：自分または相手の角行を除いて対局します。

飛落ち　：自分または相手の飛車を除いて対局します。

飛香落ち：自分または相手の飛車と左の香車を除いて対局します。

飛角落ち：自分または相手の飛車と角行を除いて対局します。

いずれかを十字ボタンで選択し、Aボタンで決定すると、次の設定画面に切り替わります。

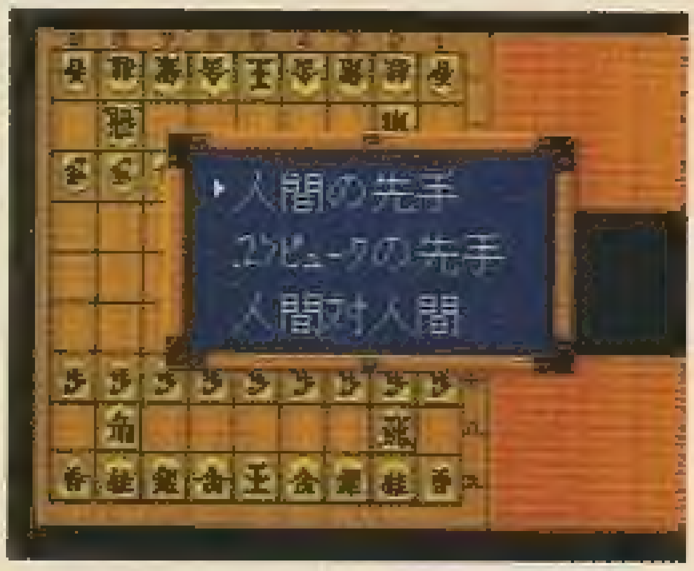


②先手／後手を設定します。

人間の先手：プレイヤーの先手になります。

コンピュータの先手：コンピュータの先手になります。

人間対人間：2人プレイモード。この場合はコントローラー1が先手になります。

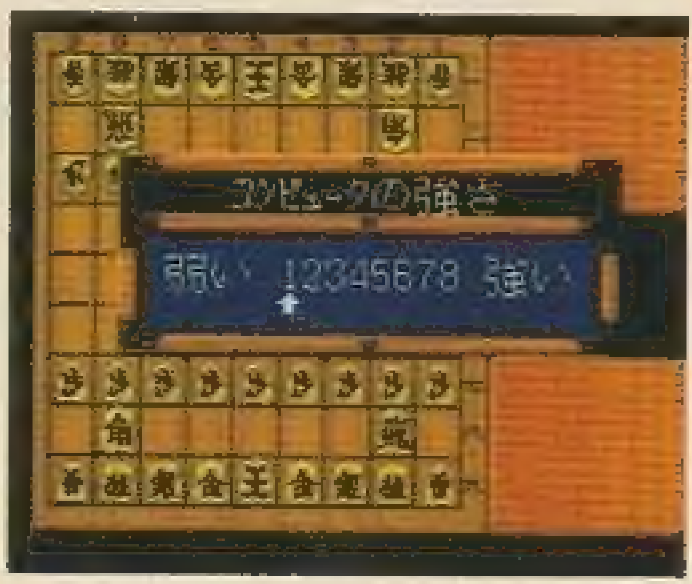


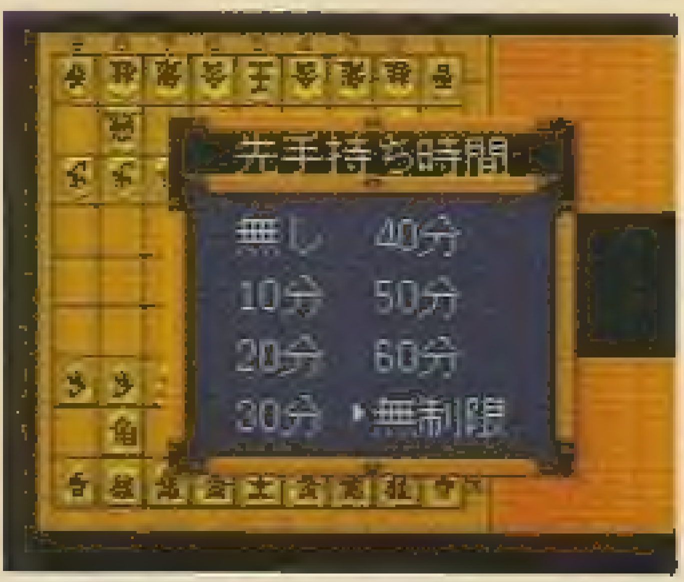
また、①で駒落ち対局を設定した場合には、次のようになります。

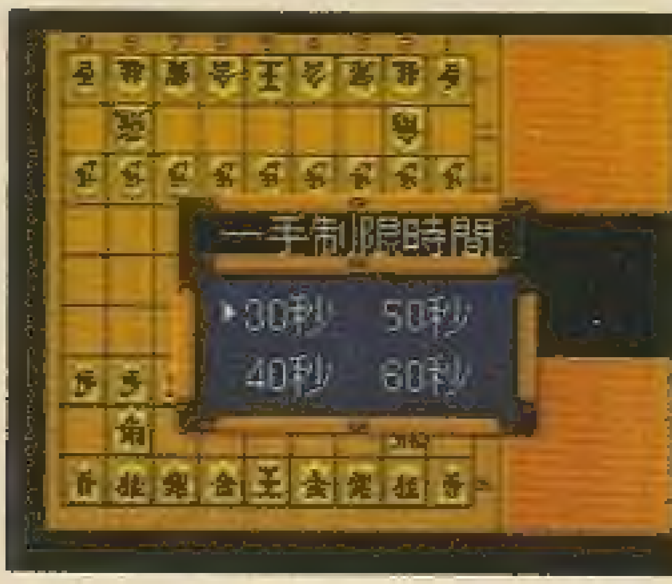
人間の上手　　　　　：プレイヤー側の駒落ち。
コンピュータの上手：コンピュータ側の駒落ち。
人間対人間　　　　　：コントローラー1が上手（駒落ち）。

いずれかを十字ボタンで選択し、Aボタンで決定すると、次の設定画面に切り替わります。

③コンピュータの強さを設定します。強さは8段階で、1が一番弱く8が一番強くなります。いずれかを十字ボタンで選択し、Aボタンで決定すると、次の設定画面に切り替わります。







④先手の持ち時間を設定します。

いずれかを十字ボタンで選び、Aボタンで決定すると、次の設定画面に切り替わります。

⑤先手の制限時間を設定します。ただし、④で「無制限」を設定した場合には、この設定はありません。

いずれかを十字ボタンで選択し、Aボタンで決定します。

※次の後手の持ち時間および制限時間も同様に操作して下さい。

コンピュータの強さは思考時間の長さと関係しており、強くするとそれだけ思考時間も長くかかります。そのため、たとえコンピュータの強さを強く設定しても、制限時間を短く設定すると、コンピュータはその強さだけの実力を発揮することが難しくなります(コンピュータを最強に設定する方法については、9ページをお読み下さい)。

⑥棋力判定の有無を選択します。これは定跡に従って、指した手のよさを点数で表すかどうかを設定するものです。人間対人間の場合は、この判定はありません。「はい」「いいえ」のいずれかを十字ボタンで選択し、Aボタンで決定します。

※Bボタンを押すと、前の設定画面に戻ります。

●最強モードの作り方

最強のコンピュータと対局したいときは、各設定画面で次のように設定していって下さい。コンピュータ側の最強モードが作れます。

○対局前の設定
- コンピュータの先手
- コンピュータの強さ：B
- 先手持ち時間：無制限
- 後手持ち時間：無制限
- 棋力判定：なし

○対局中のサブメニュー「各種設定」
- 音声：無

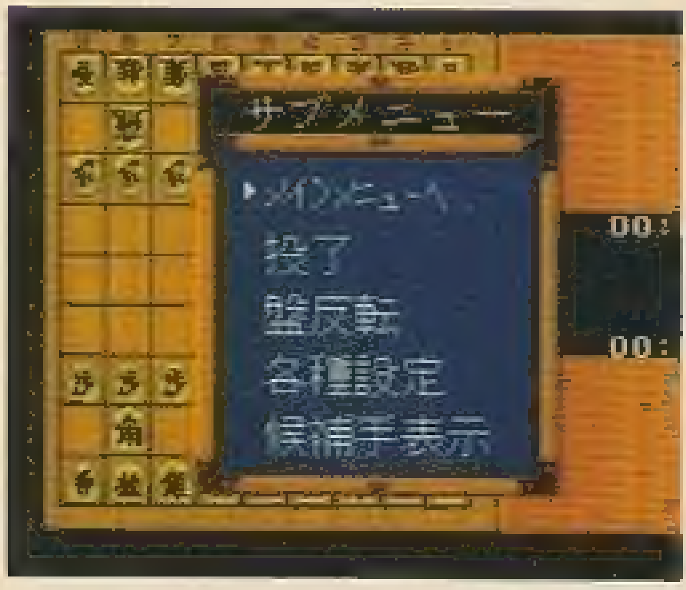
（音声がなくなると、対局時間が若干短縮されます。）

●対局方法

各設定が終了すると、いよいよ対局開始です。

・駒の動かし方

①十字ボタンを操作してカーソルを動かしたい駒に合わせ、Aボタンを押します。このときBボタンを押すと、その駒をキャンセルできます。キャンセルされた駒は、元の位置に戻ります。
②次に、その駒をどこに置くか、十字ボタンで駒を置きたい場所まで移動させ、Aボタンを押します。これで一手終了となり、手番は相手に移ります。
③駒を敵陣に進め、Aボタンを押すと駒は自動的に成ります。「成る」「成らない」のコマンドが表示されますから、十字ボタンの上下でいずれかを選択して下さい。
④持ち駒を使うときは、Bボタンを押すとカーソルが将棋盤の上から駒台に移動します。駒台上での持ち駒の選択は、Bボタンまたは十字ボタンで行うことができます。



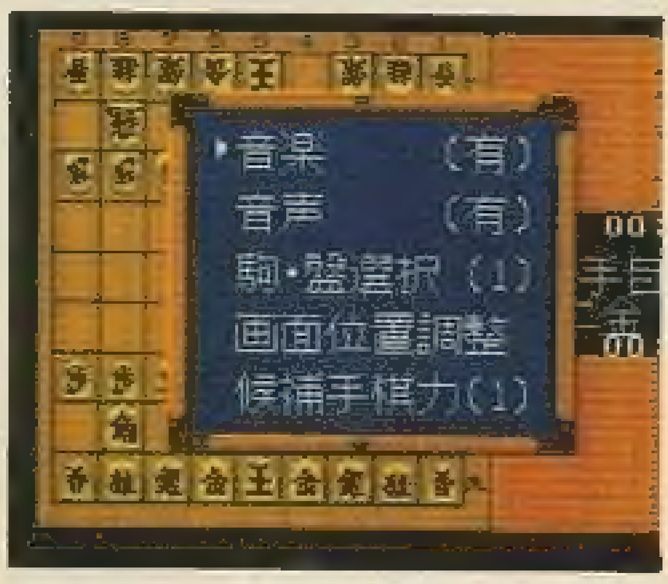
サブメニューの出し方

対局中、自分の手番中にスタートボタンを押すと、サブメニュー・ウィンドウが出ます。十字ボタンでメニューを選び、Aボタンで決定して下さい。Bボタンで対局に戻ります。

メインメニューへ：メインメニューに切り替わります。
投了：負けを認めて勝負を終わらせます。
盤反転：盤の向きを反対にします。
各種設定：「各種設定」の項をお読み下さい。
候補手表示：次にどの駒を指せばいいか、その候補を表示します。詰まれているときは「候補手が見つかりません」と表示されます。なお、人間対人間の場合は、この機能はありません。

各種設定

初期設定では、右のようになっています。変更したいときは、その項目にカーソルを合わせ、Aボタンを押して下さい。Bボタンで対局に戻ります。



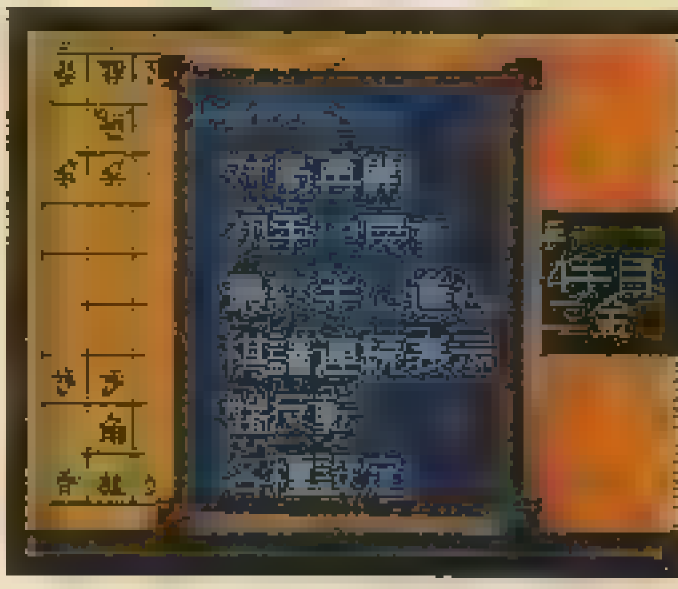
音楽：音楽（BGM）の有・無を設定します。
音声：棋譜の読み上げの有・無を設定します。「無」にすると、若干対局時間が短縮されます。
駒・盤選択：表示する駒と盤の絵を4種類から選択できます。お好きなものを選んで下さい。

画面位置調整　将棋盤の位置を、ご使用のテレビに合わせて調整できます。十字ボタンで位置を合わせAボタンを押すと、対局画面になります。Bボタンで初期位置に戻ります。

候補手棋力　「候補手表示」の棋力を設定します。範囲は8段階あり、数字が高くなるほど、先読みをした上で次の候補手を選びます。

◎棋譜再現方法

一局の終了後または対局中に、それまでの棋譜を再現して見ることができます。最初は、その対局の最終手が表示されます。Bボタンで一手ずつ戻り、Aボタンで一手ずつ進みます。このとき、スタートボタンを押すと、サブメニュー・ウィンドウが表示されます。



メインメニューへ　メインメニューに切り替わります。

対局再開　棋譜再現で操作した局面から、対局を始めます。このとき先手／後手、対局の相手などを再設定できます。

初手に戻す　再現対局の第一手に戻します。

最終手に進む　再現対局の最終手に進みます。

棋譜連続表示　自動的に連続して棋譜を表示します。Aボタンで中断します。

盤反転　盤の向きを反対にします。

各種設定　10ページをお読み下さい。

※棋譜の再現は、対局中もしくは投了直後でのみ行えます。それ以外の場合は、「棋譜がありません」と表示されます。

※棋譜再現中は、音声による読み上げはありません。

●セーブ／ロードの方法

中断または終了した対局の記録、および呼び出しを行います。記録は5つまで残すことができます。

対局を1～5番のいずれかに記録します。番号を選びAボタンを押すと、棋譜がセーブされメインメニュー画面に戻ります。やり直したいときは、Bボタンで番号選択の状態に戻ります。

すでに記録したものがある場合は、何も入っていない番号または消してもよい番号を選んで下さい。重ね書きしようとすると、「まえの棋譜が消えます」と表示されます。「はい」を選んでAボタンを押すと、その番号に保存されてあった棋譜が消え、新しい棋譜が保存されます。「いいえ」を選んでAボタンを押すと、セーブをキャンセルしてメインメニュー画面に戻ります。

ロード

「セーブ」で記録しておいた棋譜を呼び出します。番号を選びAボタンを押すと棋譜が呼び出され、メインメニュー画面に戻ります。そして「対局」から「続き」を選ぶと、呼び出した対局を始めることができます。

画面上に棋譜がある場合は、「画面上の棋譜が消えます」と表示されます。「はい」を選択すると、画面上の棋譜が呼び出した棋譜に変わります。「いいえ」を選択すると、「ロード」をキャンセルしメインメニュー画面に戻ります。Bボタンで番号選択ウィンドウに戻ります。

●モード終了の方法

メインメニューの「棋力別対局終了」を選択すると、「棋力別対局モード」を終了しタイトル画面に戻ります。対局途中で「棋力別対局終了」を選択する場合は、前もって「セーブ」で棋譜を記録してから終了させて下さい。

5 東海道五十三次モード

むかしむかし、お江戸日本橋に三度の飯より将棋の好きな、弥平という若者がおりました。ある日、彼は不思議な“駒の精”に頼まれ、京都まで一緒に東海道五十三次の旅に出ることになったのです。ところがこの旅、なかなかすんなり進めません。先々の宿場町には、手ごわい棋士がどこからともなく現れ、弥平に将棋での賭け勝負を挑んでくるのです。さて、どうなることやら…　。

- 画面上でサイコロを振り、双六形式で進みます。
- 対局方法は平手、駒落ち、手数制限、早指し、詰将棋、隠れ将棋の6種類で、対戦棋士によって異なります。
- 持ち金がゼロになったら、ゲームオーバーです。
- みごと京都までたどり着くと……!?

●操作方法



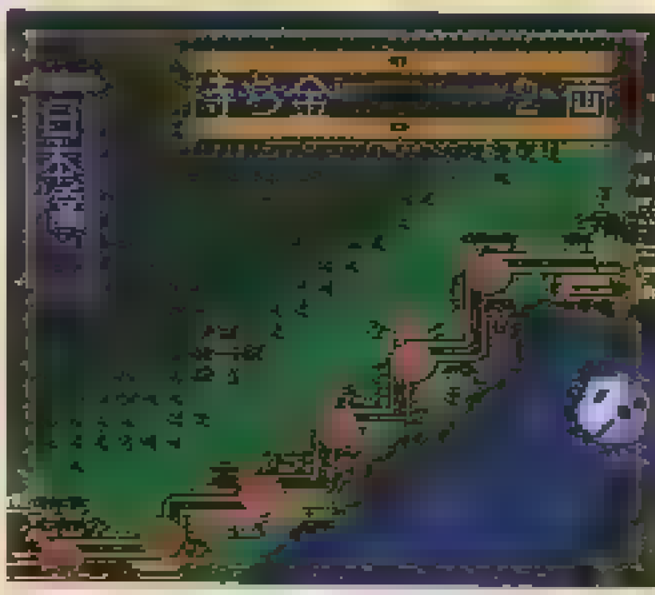
①まず、ロードするか、しないかを選択します。初めからやる場合は、「ロードしない」を選びAボタンを押して下さい。「ロードする」を選ぶと④番に進みます。

②ドラマが始まります。
※スタートボタンを押すと、ドラマ部分をとばしてマップ画面に進むことができます。

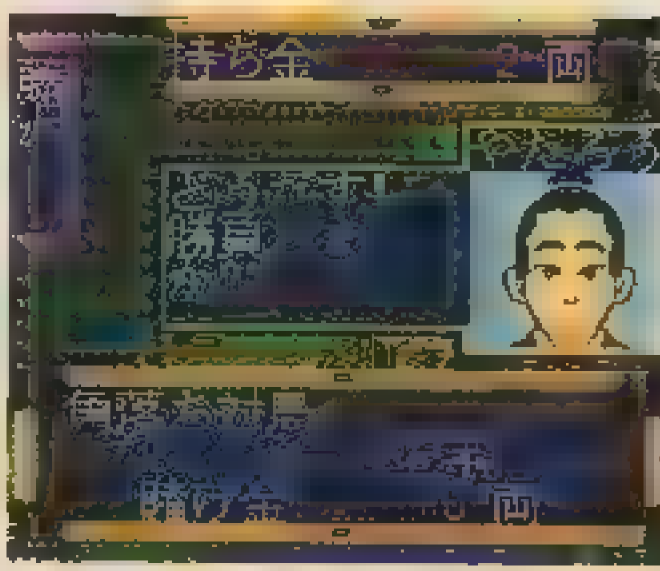


③ドラマの最後で「わかった一緒に行こう」を選ぶと次の④番へ、「そんなの関係ないね」を選ぶとタイトル画面に戻ります。

④サイコロを振ります。画面にサイコロが表示されますから、Aボタンを押して下さい。出た目の数だけ、先の宿場町に進むことができます。最初は「日本橋」でサイコロを振ります。



⑤持ち金を賭けます。宿場町に着くと敵棋士が現れ、勝負を挑んできます。勝負にいくら持ち金を賭けるか、賭け金を設定して下さい。十字ボタンの上を押すと数字が増え、下を押すと数字が減ります。

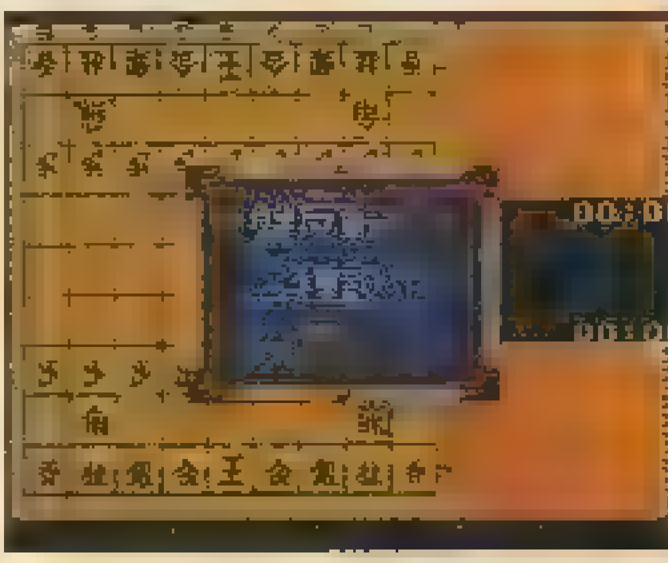


⑥対局スタートです。賭け金が決まったら、Aボタンを押してください。対局がスタートします。

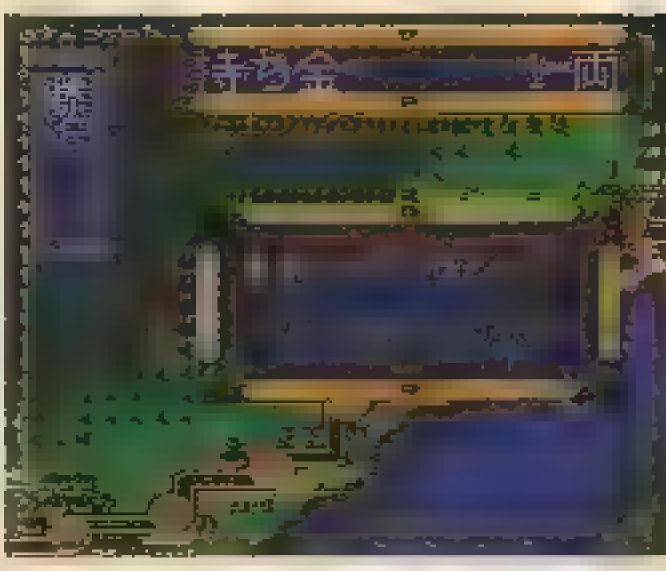
平手	先手・後手、時間無制限の平手勝負です。
駒落ち	上手、時間無制限の駒落ち勝負です。
詰将棋	「詰将棋」モードと同じです。
手数制限	100手または120手以内で勝負をつけます。先手・後手、時間無制限です。
早指し	先手・後手、一手30秒の時間制限で勝負します。
隠れ将棋	飛車と角行が見えません（移動するときのみ表示されます）。先手・後手、時間無制限の平手勝負です。

サブコマンド・ウィンドウについて

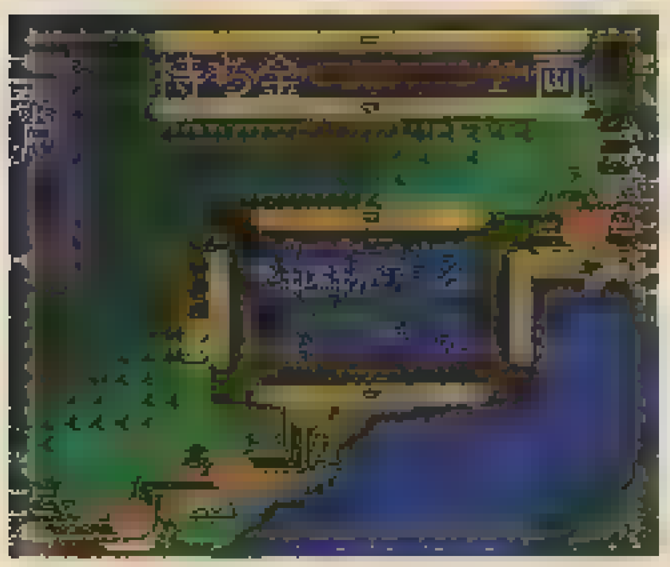
対局中にスタートボタンを押すと、サブコマンド・ウィンドウが出ます。コマンドの意味については、10ページをお読み下さい。



⑦対局が終了すると、ここまでの経過をセーブするかどうかを聞いてきます。次のいずれかを選んで、Aボタンを押して下さい。



セーブする　　これまでの経過を記録します。ただし、複数のセーブはできません。
セーブしない　今やったところまでの経過は記録されません。



⑧続いて、このモードを継続してゲームするかどうかを聞いてきますから、次のいずれかを選んで、Aボタンを押して下さい。

継続する　次のサイコロを振る画面に切り替わります。
終了する　タイトル画面に戻ります。

6 トーナメントモード

コンピュータ棋士15人との、トーナメント勝負です。6人ごとの3リーグ制で、最初は最下位のCリーグからスタートします。Cリーグの敵棋士5人相手に全勝すれば、次のBリーグへと進め、最上位のAリーグで優勝すると、名人“だいさん”との「スーパー名人戦」が待ち受けています。

○操作方法

①「ロードする／ロードしない」を選択します。初めからトーナメント戦を行う場合は、「ロードしない」にカーソルを合わせ、Aボタンを押して下さい。



前回に行ったトーナメントの記録がセーブしてあり、その続きから始めたい場合は「ロードする」にカーソルを合わせ、Aボタンを押して下さい。

②将棋ニュース番組が始まり、対局していきます。対局方法はプレイヤーの先手、持ち時間は無制限です。



③対局終了後、対局結果が表示されます。



④ここまでの経過をセーブするかどうか聞いてきます。次のいずれかを選んで、Aボタンを押して下さい。

セーブする　：これまでの経過を記録します。ただし、複数のセーブはできません。
セーブしない：今やったところまでの経過は記録されません。



⑤続いて、このモードを継続してゲームするかどうかを聞いてきます。次のいずれかを選んで、Aボタンを押して下さい。

継続する：続けて次の対局に移ります。
終了する：タイトル画面に戻ります。

※トーナメント戦では、対局途中でのセーブ、棋譜の再現はできません。

7 詰将棋モード

種類とルールについて

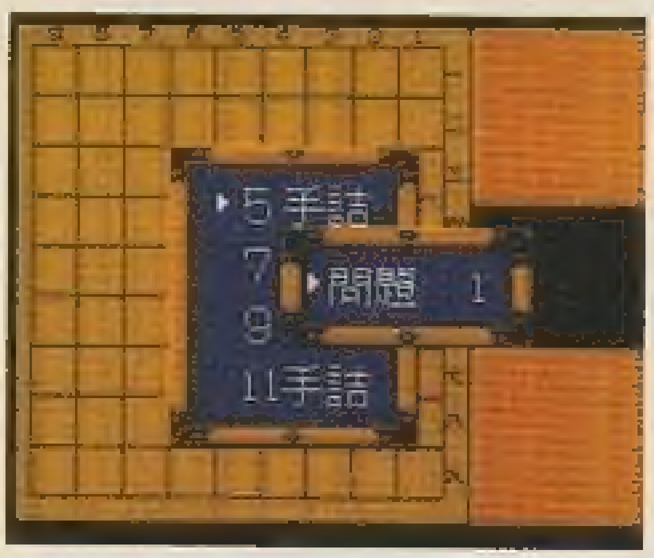
・種類　5手詰：40問　　7手詰：40問
　　　　9手詰：30問　　11手詰：10問

・ルール　1. 王手の連続で詰め、持ち駒を全部使い切って下さい。
　　　　　2.『スーパー将棋』では、解答が2つ以上ある場合、その1つのみを正解としています。

操作方法

①種類を選びます。4種類の詰将棋メニューのいずれかを選び、Aボタンを押して下さい。またBボタンを押すとこのモードを終了し、タイトル画面に戻ります。

②問題番号が表示されます。十字ボタンの上下で番号が変わります。番号を選び、Aボタンを押して下さい。



③詰将棋が始まります。プレイヤーが先手です。スタートボタンを押すと、問題選択画面になります。

④結果表示

正解　：攻め方（自分）が相手を詰めたら勝ちとなり、「正解」と表示されます。

不正解：攻め方（自分）が、まちがった手を指すと、コンピュータが続く手を指した後、「不正解」と表示されます。

8 駒の動かし方について

・駒を敵陣の中へ進める、または敵陣に打った駒を動かすとき、成ることができます。
・移動方向に敵の駒があれば、取ることができます。
・王将・玉将は、前後左右両斜めのどの方向へも１つずつ動けます。
・飛車は、前後左右の方向なら、好きなだけ動くことができます。
・龍王は飛車の成ったもので、飛車の動きに加え両斜めに１つずつ動けます。
・角行は、斜め方向なら好きなだけ動くことができます。
・龍馬は角行の成ったもので、角行の動きに加え前後左右に１つずつ動けます。
・金将は、前後左右両斜め前方に１つずつ動けます。金将に成りはありません。
・銀将は、前と斜め前後に１つずつ動けます。成り銀は銀将が成ったもので、金将と同じ動きをします。
・桂馬は、前方に２マス、左右１マスのところへ、途中に駒があっても動けます。成り桂は桂馬が成ったもので、金将と同じ動きをします。
・香車は、前身だけなら好きなだけ動けます。成り香は香車が成ったもので、金将と同じ動きをします。
・歩兵は、前に１つずつしか動けません。と金は、歩兵が成ったもので、金将と同じ動きをします。

保証書

本書は、取扱説明書の注意書きに従った正常な使用における故障に対して、無料修理、無料交換をお約束するものです。お買い上げ月日、氏名、お買い上げ店名のないものは効力を発揮しませんので、購入されましたらすぐに記入欄に所定事項の記入をお願いいたします。また、本書はいかなる場合も再発行をいたしませんので、大切に保管してください。

保証期間1カ年

なお、保証期間を過ぎた場合の修理・交換費用は、お客様の負担となりますので、金額については、当社までお問い合わせください。

購入年月日	平成　年　月　日
お買上店名	
お客様名	
ご住所	TEL（　）

品質には万全を期していますが、万一故障、不良などご不明な点がございましたら、下記当社までご連絡ください。

株式会社アイマックス

〒146 東京都大田区千鳥3-12-7　☎03(3758)0111㈹